



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 岩手銀行
コード番号 8345 URL <https://www.iwatebank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 田口 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長

(氏名) 佐々木 泰司

TEL 019-623-1111

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

特定取引勘定設置の有無 : 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,637	3.4	2,488	2.1	1,841	6.1
2020年3月期第1四半期	12,052	13.2	2,542	112.5	1,961	80.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,754百万円 (186.8%) 2020年3月期第1四半期 2,355百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	104.67	104.34
2020年3月期第1四半期	109.46	109.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,566,945	193,595	5.4
2020年3月期	3,485,537	187,456	5.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 193,390百万円 2020年3月期 187,231百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		35.00		35.00	70.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	35.9	1,500	44.7	85.27
通期	4,700	11.6	3,000	20.7	170.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	18,497,786 株	2020年3月期	18,497,786 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	902,909 株	2020年3月期	907,897 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	17,590,270 株	2020年3月期1Q	17,915,525 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業的前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

※ [説明資料] 2021年3月期第1四半期決算の概要【単体】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の経営成績につきましては、経常収益は、資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比4億15百万円減の116億37百万円となりました。

経常費用は、有価証券関係損失が減少したことなどから、前年同期比3億60百万円減の91億49百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比54百万円減の24億88百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同1億20百万円減の18億41百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期の財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は、個人預金の増加を主因として前連結会計年度末比410億円増加し3兆2,423億円となりました。

貸出金は、法人向け貸出や個人向け貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比365億円増加し1兆8,516億円となりました。

有価証券は、社債等の残高が増加したことなどにより、前連結会計年度末比712億円増加し1兆2,714億円となりました。

(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大により、将来の経済環境は不確実性が増しておりますが、当行は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底していくとともに、引続き地域経済の安定化のため、地域への円滑かつ安定的な資金供給に、より積極的に取り組みしていくこととしております。

当第1四半期の業績につきましては、2020年5月14日に公表いたしました第2四半期（累計）の業績予想計数を上回って推移しておりますが、新型コロナウイルスの影響による貸倒引当金の追加繰入などと信関連費用等が変動する可能性があることを考慮し、業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	370,821	215,992
コールローン及び買入手形	—	135,000
買入金銭債権	4,839	4,589
金銭の信託	10,750	5,873
有価証券	1,200,177	1,271,438
貸出金	1,815,083	1,851,643
外国為替	3,933	2,919
その他資産	64,050	63,487
有形固定資産	16,825	16,868
無形固定資産	1,464	1,424
退職給付に係る資産	3,697	3,788
繰延税金資産	492	379
支払承諾見返	5,358	5,262
貸倒引当金	△11,959	△11,721
資産の部合計	3,485,537	3,566,945
負債の部		
預金	2,965,408	3,091,486
譲渡性預金	235,976	150,899
コールマネー及び売渡手形	—	19,464
借入金	56,552	66,538
外国為替	4	27
その他負債	29,245	31,906
役員賞与引当金	25	5
退職給付に係る負債	2,483	2,477
役員退職慰労引当金	24	21
睡眠預金払戻損失引当金	420	406
偶発損失引当金	228	234
繰延税金負債	2,354	4,619
支払承諾	5,358	5,262
負債の部合計	3,298,081	3,373,349
純資産の部		
資本金	12,089	12,089
資本剰余金	5,666	5,666
利益剰余金	156,688	157,912
自己株式	△3,905	△3,883
株主資本合計	170,539	171,785
その他有価証券評価差額金	23,083	27,673
繰延ヘッジ損益	△4,102	△3,856
退職給付に係る調整累計額	△2,289	△2,211
その他の包括利益累計額合計	16,691	21,605
新株予約権	224	204
純資産の部合計	187,456	193,595
負債及び純資産の部合計	3,485,537	3,566,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	12,052	11,637
資金運用収益	7,801	7,203
(うち貸出金利息)	4,333	4,270
(うち有価証券利息配当金)	3,461	2,918
役務取引等収益	2,162	1,882
その他業務収益	1,030	1,190
その他経常収益	1,057	1,360
経常費用	9,509	9,149
資金調達費用	303	232
(うち預金利息)	103	87
役務取引等費用	799	839
その他業務費用	1,113	1,029
営業経費	6,745	6,717
その他経常費用	547	330
経常利益	2,542	2,488
特別利益	1	6
固定資産処分益	1	6
特別損失	26	1
固定資産処分損	3	1
減損損失	23	—
税金等調整前四半期純利益	2,517	2,493
法人税、住民税及び事業税	74	410
法人税等調整額	481	242
法人税等合計	556	652
四半期純利益	1,961	1,841
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,961	1,841

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,961	1,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	613	4,589
繰延ヘッジ損益	△256	246
退職給付に係る調整額	36	77
その他の包括利益合計	393	4,913
四半期包括利益	2,355	6,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,355	6,754

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

[説明資料]2021年3月期第1四半期決算の概要(単体)

1. 損益の状況

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期	前年同期比	2020年3月期 第1四半期
経常収益	10,443	△ 735	11,178
業務粗利益	7,987	△ 583	8,570
資金利益	7,218	△ 537	7,755
役務取引等利益	717	△ 292	1,009
その他業務利益	50	244	△ 194
(うち国債等債券損益)	△ 11	95	△ 106
経費(△)	6,272	△ 105	6,377
うち人件費	3,229	△ 77	3,306
うち物件費	2,491	△ 68	2,559
実質業務純益 ※1	1,714	△ 478	2,192
コア業務純益 ※2	1,726	△ 573	2,299
除く投資信託解約損益	1,371	△ 451	1,822
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	12	12	—
業務純益	1,702	△ 490	2,192
臨時損益	489	△ 43	532
うち不良債権処理額(△) ②	259	223	36
うち貸倒引当金戻入益 ③	—	△ 241	241
うち株式等関係損益	702	347	355
経常利益	2,191	△ 534	2,725
特別損益	5	29	△ 24
法人税等	531	12	519
四半期純利益	1,666	△ 514	2,180
与信費用(①+②-③)	271	476	△ 205

<単体> ※増減は前年同期比

■ 経常収益～104億円(△7億円)
資金運用収益の減少などにより7億円減少

■ 業務粗利益～79億円(△5億円)
資金利益の減少などにより5億円減少

■ 経費～62億円(△1億円)
人件費、物件費の減少などにより1億円減少

■ 実質業務純益～17億円(△4億円)
経費は減少したものの、業務粗利益の減少により4億円減少

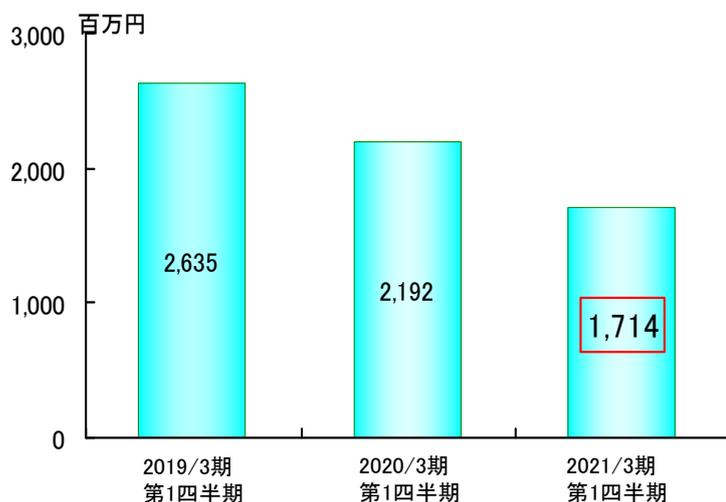
■ 経常利益～21億円(△5億円)
株式等関係損益は増加したものの、実質業務純益が減少したことに加え、個別貸倒引当金繰入など不良債権処理額が増加したことなどにより5億円減少

■ 四半期純利益～16億円(△5億円)
上記の要因により5億円減少

※1. 実質業務純益＝業務粗利益(資金利益＋役務取引等利益＋その他業務利益)－経費

※2. コア業務純益＝業務粗利益(資金利益＋役務取引等利益＋その他業務利益)－経費－国債等債券損益

実質業務純益の推移(単体)



四半期純利益の推移(単体)



2. 貸出金

貸出金残高は、法人向け貸出および個人向け貸出が増加したことなどにより、前年同期比793億円(4.4%)増加の1兆8,569億円となりました。

また、平均残高は、同403億円(2.2%)増加の1兆8,244億円となりました。

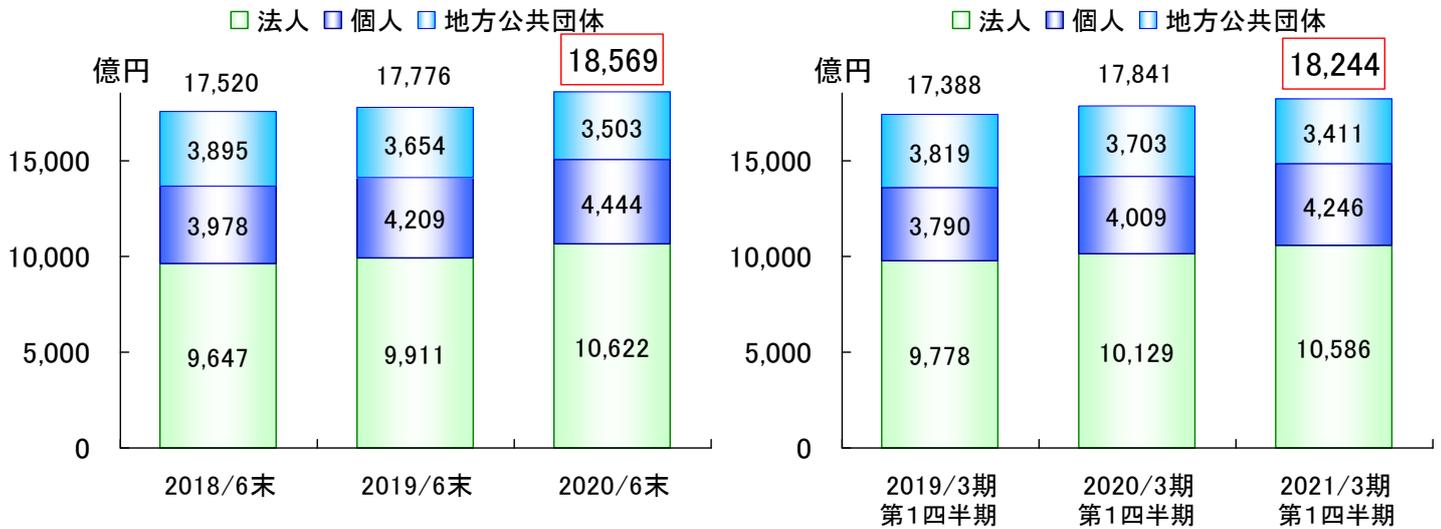
(単位: 億円、%)

	2018年6月末	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年3月末
貸出金末残	17,520	17,776	18,569	793	4.4	18,203
貸出金平残	17,388	17,841	18,244	403	2.2	17,933

※平残は第1四半期(3カ月間)の計数

貸出金末残の推移

貸出金平残の推移

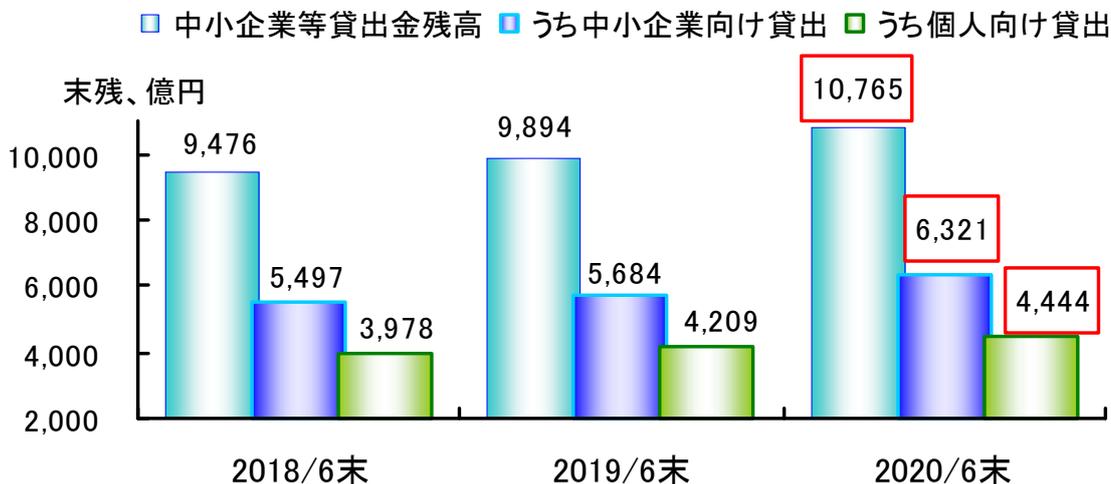


【中小企業等貸出金の状況】

中小企業等貸出金残高は前年同期比871億円増加の1兆765億円となりました。

このうち、中小企業向け貸出金残高は、前年同期比637億円増加の6,321億円、個人向け貸出金残高は、同235億円増加の4,444億円となりました。

中小企業等貸出金残高の推移



3. 預金等(譲渡性預金を含む)

預金等残高は、個人預金が増加したことなどから、前年同期比1,075億円(3.4%)増加の3兆2,514億円となりました。

また、平均残高は、同847億円(2.7%)増加し、3兆1,974億円となりました。

(単位:億円、%)

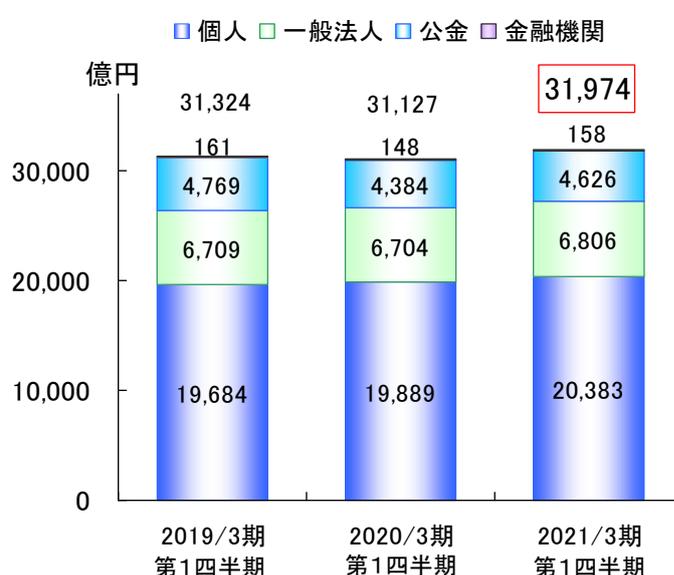
	2018年6月末	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年3月末
預金等末残	30,985	31,439	32,514	1,075	3.4	32,105
預金等平残	31,324	31,127	31,974	847	2.7	30,666

※平残は第1四半期(3カ月間)の計数

預金等末残の推移



預金等平残の推移

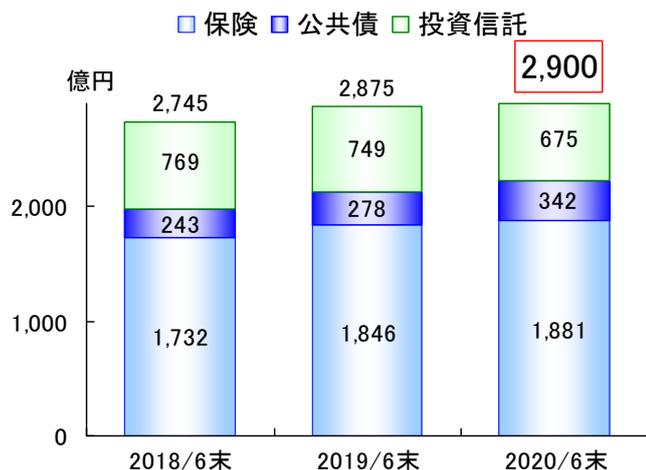


4. 預り資産

預り資産の残高は、公共債の増加などにより、前年同期比25億円増加の2,900億円となりました。

また、期中販売額は85億円となり、前年同期比20億円減少しました。

預り資産残高の推移



※保険については有効契約残高を記載しております。

預り資産販売額

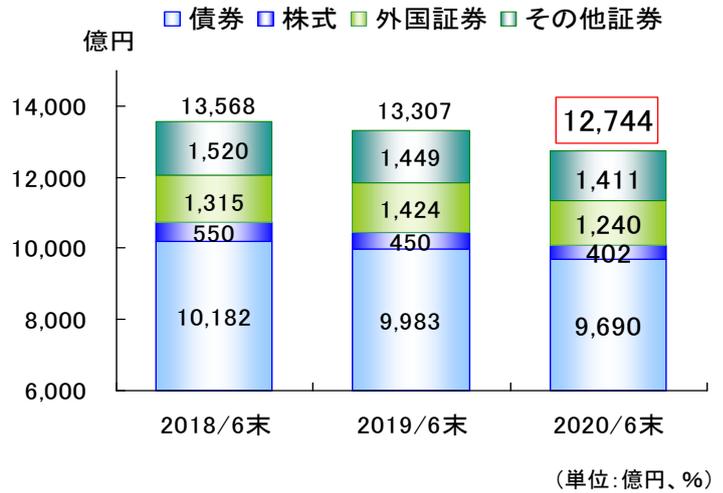
(単位:億円、%)

	2021年3月期 第1四半期 (3カ月間)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
販売合計	85	△ 20	△ 19.0%
投資信託	44	1	2.3%
公共債	16	△ 5	△ 23.8%
保険	25	△ 14	△ 35.8%

5. 有価証券

有価証券残高は、国債等の債券運用残高が減少したことなどにより、前年同期比563億円(4.2%)減少の1兆2,744億円となりました。
また、平均残高は、同540億円(4.2%)減少の1兆2,269億円となりました。

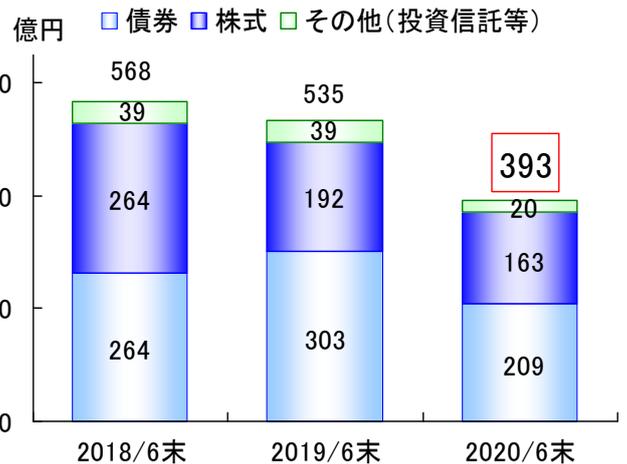
有価証券未残の推移



	2018年6月末	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年3月末
有価証券未残	13,568	13,307	12,744	△ 563	△ 4.2	12,030
有価証券平残	13,342	12,809	12,269	△ 540	△ 4.2	12,631

※平残は第1四半期(3ヵ月間)の計数

有価証券の評価差額(含み益)の推移



(1) 有価証券の評価差額(含み益)の状況

有価証券の評価差額(含み益)は、前年同期比142億円減少し、393億円(うち債券209億円、株式163億円、投資信託等20億円)となりました。

(2) 有価証券関係損益

有価証券関係損益は、株式等償却が減少したことなどから、前年同期比4億円増加の6億円となりました。

	2019年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2020年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2021年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	前年同期比	2020年3月期
					(単位: 百万円)
有価証券関係損益 A+B	2,102	249	691	442	△ 296
国債等債券損益 A	66	△ 106	△ 11	95	△ 648
売却益	225	59	116	57	422
償還益	—	—	—	—	—
売却損(△)	—	3	107	104	9
償還損(△)	159	162	20	△ 142	1,062
償却(△)	—	—	—	—	—
株式等損益 B	2,036	355	702	347	352
売却益	2,038	749	926	177	1,719
売却損(△)	—	85	161	76	475
償却(△)	1	307	62	△ 245	891

6. 与信費用

与信費用は、個別貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同期比4億円増加の2億円となりました。

(単位:百万円)

	2019年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2020年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2021年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	前年同期比	2020年3月期
与信費用	3,030	△ 205	271	476	1,670
一般貸倒引当金繰入額	1,183	—	12	12	939
不良債権処理額	1,847	36	259	223	731
貸出金償却	—	—	—	—	0
個別貸倒引当金繰入額	1,807	—	190	190	688
偶発損失引当金繰入額	39	36	69	33	41
債権売却損	—	—	—	—	1
貸倒引当金戻入益(△)	—	241	—	△ 241	—

7. 金融再生法開示債権

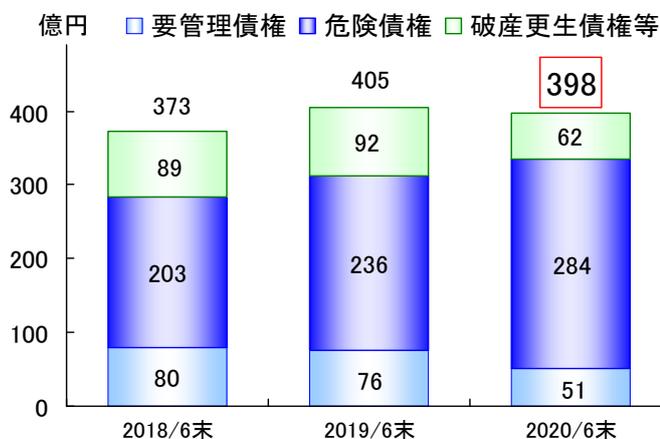
金融再生法開示債権は、前年同期比7億円減少の398億円となりました。

また、不良債権比率は、総与信額の増加により、前年同期比0.14ポイント低下し、2.12%となりました。

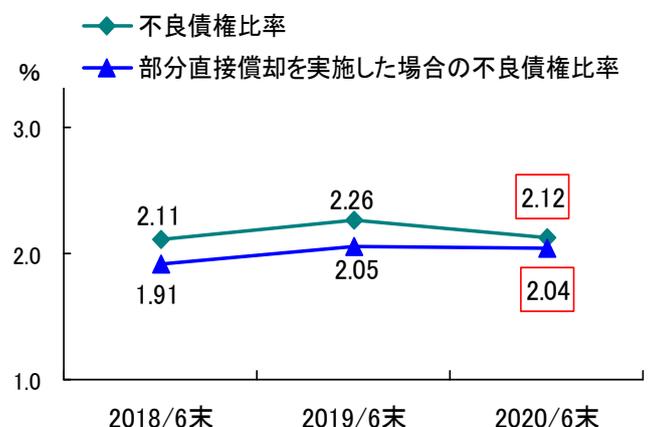
(単位:億円)

	2018年6月末	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比	2020年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	89	92	62	△ 30	73
危険債権	203	236	284	48	270
要管理債権	80	76	51	△ 25	46
合計	373	405	398	△ 7	390

金融再生法開示債権の推移



総与信額に対する比率の推移



8. 自己資本比率

2020年6月末時点の自己資本比率(国内基準)については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。